解答・解説　国語　NO.20

〈解答〉

1　1　三

2　ア・オ（順不同・各解）

3　ウ

4　〔例〕自分の生きてゆくこととあまり関係がなければ、羨ましいという感情は生じない（36字）

配点　1　2、4は各3点、他は各2点　10点満点

〈解説〉

1

1　活用のある自立語は、動詞、形容詞、形容動詞の三つ。波線に含まれる活用のある自立語は、「若い」（形容詞「若い」の連体形）、「病弱だっ」（形容動詞「病弱だ」の連用形）、「でき」（動詞「できる」の未然形）の三つである。

2　傍線①の直前に「それ（＝他人を羨ましいと感じること）はいけないというので、一所懸命に抑えこもうとしたり、羨ましいなどと感じる自分は悪い人間であると、自分をせめたり、卑下したり」とあるのに注目する。アの「嫌悪感を覚える」と「自分は悪い人間であると、自分をせめたり、卑下したり」が一致し、オの「抑圧する」と「一所懸命に抑えこもう」が同じ内容であることを確認する。

3　［②］がある文の文末が「……とする」で終わっていることに注目する。「たとえば…とする」という組み合わせで、具体例を挙げて仮定条件をつくっている。

4　「羨ましい」は、「自分の持っていないものを他人が持っている」場合に生まれる感情であるが、「自分の持っていないものを他人が持っているときに必ず生じるとは限らない」ものであると解説されている。では、「羨ましい」という感情が生まれるのはどのような場合で、生まれないのはどのような場合かを、本文中から読み取る。傍線③の直前の文に「自分の生きてゆくこととあまり関係がない」場合には、「羨ましい」という感情は生まれないと述べられているので、この内容をふまえて、空欄に当てはまることばをまとめる。